

講演「生き残る石材店戦略」

日本石材産業協会では、2016年度から公正競争規約検討特別委員会が発足され、委員長の白木秀典氏を迎え委員会の活動についてご説明いただきました。

この委員会は石材業界の墓石販売に関して、消費者庁と公正取引委員会のご指導をいただきながら、業界の自主ルール、公正競争規約を制定し、消費者の墓石に関するクレームを是正するための準備をしています。'生き残る石材店戦略'というタイトルで石材需要の現状と10年間の需要の予測、今後石材店が生き残ってゆくためにどのようにすればいいのか、公正競争規約に関するDVDを上映しながら委員会の趣旨の説明をうかがいました。

新規墓石の需要は激減し、墓石小売店は半減するという厳しい状況の中で、生き残る石材店は「後継者のいる店」、「既存顧客のフォローをきちんとできている店」、そして「業界のルールをきちんと守り、お客さまから信頼を得られるお店」だという説明に、聴講者もそうであろうと思っはいるものの、実際のデータを見て、具体的な戦略の話聞く中で、改めて参考になる点を見出したのではないかと思います。

今こそ我々が考えるべき大切なポイントです。多方面からの議論ができる題材だと思います。

最後に白木氏は、消費者ニーズに合った業界づくり、石材店づくりのきっかけになればと時間の許す限り、全国の支部に出向き、お話をさせていただく機会をいただきたとおっしゃっていました。

